

2 がっひかりごう

平成 31 年 2 月 1 日 輝 保 育 園

今月は 1 年で最も寒さが厳しくなります。子ども達は寒さをものともせず園庭に出て遊んでいます。4、5 才児さんが、ルールのある集団遊びをする姿をよく見かけるようになりました。年長児のドッチボールは、見ている方もワクワクする程、活気があります。今月は発表会があり、皆で目標に向かって取り組んでいます。1 つのものを作り上げる楽しさや達成感は、必ず、進級や入学に向けての自信に繋がる事でしょう。

【生活発表会】

予定日 2 月 9 日 (土曜日)

開始時間 9:00

終了時間 11:40 (予定)

当日は、頑張っている子ども達を温かく見守り、拍手をお願いします。

★ 節 分 ★

節分とは、読んで字のごとく、「季節を分ける」という意味です。

季節の変わり目には、邪気が入り込むと昔の人は考えたため、それを追い払う行事を行いました。

昔の人は、豆 = 穀物は、生命力と魔除けの力を持っていると考えていました。

同時に、まめは、「魔目(まめ)」を鬼の目に投げて鬼を滅する(魔滅 = まめ)に通じることから行われました。



= 2 月の行事予定 =

5 日(火) 音楽会
(ゾリステン・ドライエック)

7 日(木) 避難訓練

9 日(土) 生活発表会

22 日(金) 身体測定、お誕生会



== ナース・レポート ==

【スーパー・スプレッダーとは】

スーパー・スプレッダーとは、多くの人への感染拡大の感染源となった特定の患者の存在のことを示します。

インフルエンザ流行拡大においてのスーパー・スプレッダーは子ども(集団活動を行う保育園児・幼稚園児・小学生児童)と考えられています。

理由は低年齢の子どもは免疫力が備わっておらず、また感染症対策となる、手指衛生・うがい・咳エチケットが上手く出来ないことがあげられます。

更に、感染しやすいとされる集団生活を日常におこなっているためです。

輝保育園においても 1 月 25 日現在、インフルエンザでお休みの子が 3 名います。

インフルエンザは検査をしないとわかりません。

陽性をはっきり確定するのは、発熱して 6 時間以上 ~ 12 時間が目安とされています。

また、インフルエンザの熱は、一旦下がった後、ぶり返すことがしばしば見られることもあり、これはインフルエンザの特性で二峰性発熱と呼ばれています。

「熱が下がったから」で安心せず、インフルエンザの特性を理解し、流行拡大を招かないようにしましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭生活 ☆☆

~ 家庭の取組 5④ ~

◎ トルコではみんなよく知っているこんな民話があります。

あるところに一人の男の子とその両親、祖父母が暮らしていました。

食事の時、男の子と両親は、明るいきれいな部屋で銀の食器、銀のフォークとナイフで食事をしていました。

その間、おじいちゃんとおばあちゃんは暗い納屋で木の食器、木のフォークとナイフで粗末な食事をしていました。

男の子はお母さんに「どうして、おじいちゃん達はあんな暗いところで食べているの?」と尋ねました。

お母さんは答えました。

「あの人は年寄りだからあそこがいいんだよ。」

ある時、男の子が一生懸命木を削って何かを作っていました。



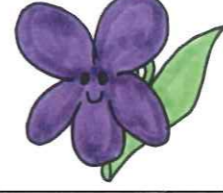

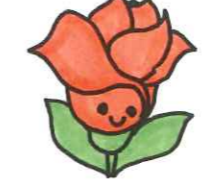

お母さんは、それを見て「坊や、何を作っているの?」と尋ねました。

男の子はこう言いました。

「父さんと母さんが、おじいちゃん、おばあちゃんになった時に使う食器だよ。」



「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

たんぽぽぐみ 0 才児	 <p>0 才児のお部屋では探索活動が盛んに行われています。物を掴めるようになったお友だちが、「これは何だろう」と手に触り、口に運びなめて物の確認をする探索活動から、ハイハイやズリバイで前に進む移動手段を獲得したお友だちが、自由に行き来している中で「あれは何だろう」、「面白そうだな」と手に取る探索活動まで様々です。特に柵の中の鞆に興味津々で、みんなで引っ張り出し柵の中は空っぽなんてこともあるほどです。高月齢児のお友だちは、興味がより広い世界へと向かい探索活動も幅広く行われています。戸外遊びでは自然物である葉っぱやカラスが鳴く様子に興味を抱き、三輪車に乗っては前に進もうと四苦八苦してみたり、室内の玩具の「型はめ」もいつの間にか出来るようになり、探究心も大きく育っています。</p>
たんぽぽぐみ 1 才児	 <p>全児、定期的にトイレに誘い、便器での排泄を促しています。排尿の成功率は様々ですが、その子なりに、排尿の成功する回数は増えてきています。時々しか成功しない子が成功した時は、「出た!」と嬉しそうな表情で帰ってきます。「出たね! すごい!」と一緒に喜び、褒めると満面の笑顔です。高月齢の女の子は、排尿後、自分でトイレトイレットペーパーを使い拭いています。保育者が、程良い量のペーパーを渡すと自分で上手に拭きます。少し強い力で拭いてしまう子もいるので、「そーっと拭いてね」、「優しくね」と声をかけると、自分で気をつけながら拭く姿も見られます。家庭でも、朝起きてからや、お休みの日など、トイレでの排尿を促してみてください。成功して、おうちの方に一緒に喜んでもらったり、褒めてもらえたら、次も頑張ってくれるでしょう。</p>
すみれぐみ 2 才児	 <p>冷たい風にも負けず、元気に走り回っている子ども達です。今、すみれぐみは上着の着脱を頑張っています。初めころは「できない」とよく口にし、すぐに諦めていました。難しいところは一緒にに行い、やり方を伝え、出来たときは一緒に喜ぶことを繰り返していくうちに、「自分で出来た!」という喜びが自信につながりました。そして、今では、ほとんどの子が最後まで出来るようになりました。時間がかかってしまう子もいますが、「自分で!」という気持ちをしっかりと持ち、最後まで諦めずに取り組んでいる姿に成長を感じます。ご家庭でも、すべてをやってあげるのではなく、子ども達が自分で頑張っている姿を温かく見守り、出来たときには一緒にたくさん喜んであげてください。それが何よりも、子ども達の自信とやる気につながります。</p>
ちゅうりっぷぐみ 3 才児	 <p>先日、ひまわりさんが劇ごっこを見に来てくれました。「見てもらう」という経験。緊張する姿もありましたが、嫌がる子はおらず、その場にいた全員が参加。みんなで活動する楽しさを実感できるようになり、心が逞しくなりつつあることの現れです。このような、3 才児期の「みんなで一緒に活動する楽しさ」の積み重ねは、年中・年長児期における、共通の目的に向かって取り組む力や協力する力の土台となります。芽生え始めたこの気持ちを、大切に温かく見守っていきます。進級まで残り 2 か月。ロッカーの整理も上手になり、脱いだ衣服を畳んだり、帽子を所定の場所に片づけたりと丁寧さが身につきました。発達評価表を基に課題を明確にして取り組んでいます。ご家庭と園双方で子ども達の望ましい習慣を確立させていきましょう。</p>
ばらぐみ 4 才児	 <p>表現遊びを中心に活動しています。劇遊びでは、動きや声のトーン、大道具の準備など子ども達自身の気づきや考えを取り入れ、表現することの楽しさが十分に味わえるよう進めています。初めて挑戦した、「曲に合わせて振付を考える」という活動。戸惑う子が多く、なかなか決まりませんでした。助言すると、少しずつアイディアが出始め、一人ひとりの動きを組み合わせることで完成。友達の考えを受け止め、自分の考えも受け止められるという経験ができました。大人の助言を受けながらではありますが、話し合いが成立した姿に友達関係の深まりを感じます。また、遊びの面でも、ルールがあることによって遊びが楽しくなることに気づき始め、友達と面白さを共有できるようになった姿が多く見られます。</p>
ひまわりぐみ 5 才児	 <p>先日行われたマラソン大会では、1 位を目指すのではなく「最後まで頑張ること」を目標にし、走り終えた子ども達は心も体も一段と成長しました。また、劇ごっこやリズム遊びに取り組んでいます。劇ごっこは絵本に出てくる台詞を参考にして自分達で台詞を考えました。「どうしよう? 悩みなあー」、「~ いいんじゃない」とアドバイスし合いながら言葉のやりとりを楽しんでいます。リズム遊びは今まで運動会、夏祭り、誕生会などで友だちと沢山踊ったり合奏したりした成果が出た楽しい合奏が出来ています。自信の持てない子には自分の得意なことを発表して認められることで自信につながるように、自信を持って取り組んでいる子は更に自信を高めていけるような発表会にしたいと考えています。園生活最後の発表会をみんなで心をつなげて頑張りましょう。</p>

こどもものようす